

交通事故発生件数

	発生件数	死者数	傷者数
中央区	516 (-53)	1 (0)	612 (-73)
札幌市	2,800 (-233)	6 (-3)	3,272 (-353)

※平成23年累計・5月19日現在。
() は前年比

☎ (211) 2927
FAX (218) 5105

▽内容 不法投棄を目撃した際に、通報するボランティアを募集します。任期は2年間(その後は継続可能)。
▽対象 市内在住か通勤・通学されている方。
▽申込 随時、電話か直接来庁。または①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号を明記の上、はがき・ファクスで。
①申込詳細 環境局事業廃棄物課(〒060-8611北1西2・市役所本庁舎13階)

不法投棄ボランティア監視員の募集

【みんな元気!!食育体験レストラン】

※この「レストラン」は事業名です。

<食育セミナー>

テレビでもご活躍の天使大学・荒川義人教授と札幌プリンスホテル・佐藤幸彦料理長のコラボ食育講演会です。

◆講演:「健康づくりは野菜リッチな朝ごはんから!」(講師:荒川義人氏(天使大学教授))。

講話:「旬の道産食品の味わい方」(講師:佐藤幸彦氏(札幌プリンスホテル料理長))。

※佐藤料理長おすすめの道産食品を使ったメニューの紹介と試食もあります。

◆日時 6月30日(木) 午前10時~正午(受け付けは午前9時45分から)。



中央区食育マスコット「モリス」

◆会場 中央保健センター2階講堂(南3西11)。

◆対象 区内在住の方。

◆定員・費用 50人・無料。

◆申込 6月14日(火)午前9時から電話で(ファクス不可)。先着順。

①申込・詳細 健康・子ども課 ☎511-7221



子育て時期のカラスにご用心

カラスは4月上旬から7月下旬にかけて、巣を作り、ひなが巣立つまで育てます。卵を産んでから巣立ちまでの期間は約2カ月です。その間、カラスは卵やひなを守ろうと、人が巣に近づくと威嚇してきます。



◆カラスの威嚇の仕方は?

巣に近づく人がいれば高いところから様子を見かねて「カッカカッ」と鳴いたり、止まっている木の枝や電線を激しく突いたりします。それでも人が遠ざからないときは、後方から飛んできて頭の付近をかすめたり、脚で蹴るなどの攻撃をすることもあります。

◆威嚇への対策は?

カラスが威嚇してくる場合は、近くに巣がある可能性が高いので、その場から遠ざかるか迂回するようにしましょう。どうしても通らなければならないときは、傘を差したり帽子をかぶったりして被害を防ぐようにしましょう。

◆カラスが街に巣を作る原因は?

カラスが街に巣を作るのは、餌となるごみが近くにあることが原因の一つです。

ごみステーションの管理を徹底し、カラスの餌場にされないようにすることがカラスの増加を抑えることにつながります。

○ごみステーションのネットをしっかりとかぶせたり、カラスよけサークルを活用したりして、カラスがごみを引っ張り出せないようにしましょう。

○排出時間などのルールを守りましょう。

問い合わせ先	
公園・街路樹にできた巣	中央区土木部維持管理課 ☎614-5800
電柱にできた巣	北電柱 北海道電力 ☎251-1111
	NTT柱 NTT東日本-北海道 ☎0120-270-794
ごみステーションのカラスよけ 器材に関する相談	中央清掃事務所 ☎581-1153

※市では、民有地の巣の撤去は行っていません。土地の所有者や管理者が行うことになります。※巣の中に卵やひながいる場合の巣の撤去は、市の許可が必要です。詳しくは、環境局みどりの推進課(☎211-2522)へ。